

2019年度 事業報告 (案)

(2019年4月1日～2020年3月31日)

1. 一般財団法人社会通信教育協会体制

1) 理事・監事・参与・顧問・評議員

会 長	井出 久
副 会 長	清水都岐子
理 事	堀口 一秀・引野 隆志・香川 明夫・荒井 彰・長谷川 至
監 事	大日方郁夫
参 与	葛西 孝章・村岡 敏朗・井上 秀之
顧 問	山本 恒夫・石橋 桂一・品川 恵保

2) 評議員

評 議 員	金谷 光荣・木村 光男・宮原 正和・小久保 清吉・佐藤 浩二
	高松 輝江

3) 税務会計委嘱 木澤 進 (木澤進税理士事務所長)

2. 理事会・評議員会・例会の開催

1) 2019年度 第1回定時理事会

日 程=2019年5月29日 (水)

場 所=中央工学校生涯学習センター 会議室

議 題=第1号議案 2018年度事業報告(案)に関する件

第2号議案 2018年度収支報告(案)に関する件

第3号議案 2018年度公益目的支出計画報告書(案)に関する件

第4号議案 評議員会召集及び提出議案に関する件

2) 2019年度 第1回定時評議員会

日 程=2019年6月12日 (水)

場 所=中央工学校生涯学習センター 会議室

議 題=第1号議案 2018年度事業報告に関する件

第2号議案 2018年度収支報告に関する件

第3号議案 2018年度公益目的支出計画報告書に関する件

3) 2019年度 第2回理事会

日 程=2020年3月11日 (水)

場 所=中央工学校生涯学習センター 会議室

議 題=第1号議案 年度事業計画 (案) に関する件

第2号議案 平成31年度収支予算 (案) に関する件

4) 月例理事会・例会

日 程=2019年4月10日、5月29日、12月11日
2020年2月12日、

場 所=中央工学校生涯学習センター 1階 102教室

5) 新年会

2020年1月8日(水) 18:00~20:00 香川栄養学園「松柏軒」

3. 委員会メンバーの任命

第1回理事会(2019年5月29日)において、以下の通り委員会メンバーが承認され任命した。

委員会名	委員長	副委員長	委 員
人材バンク委員会 担当理事 引野	高 松 (栄 養)	高 橋 (NHK)	倉地(書道)、井守(服装)、羽仁(NOMA)、佐藤(中央工)、井上(清水きもの)、桜井(経営教育)、酒井(事務局)
表彰委員会 担当理事 荒井	長谷川 (経 営 教 育)	葛 西 (習字)	金谷(秋大)、太田(英検)、森川(国際文化)、高松・亀田(栄養)、保坂・佐々木(川口学園)、佐藤(中央工)、村岡(公開経営)、杉浦(産能大)、神田(習字)、酒井(事務局) (大臣賞当日の委員は、受賞者のある団体から1名以上)

4. 2019年度の加盟団体

秋田大学理工学部通信教育講座、日本英語検定協会、日本通信教育学園、国際文化カレッジ、日本書道教育学会、文化服装学院、中央工学校生涯学習センター、女子栄養大学生涯学習センター、早稲田通信教育センター、日本経営協会、公開経営指導協会、清水とき・きものアカデミア、産業能率大学、日本経営教育センター、NHK 学園、日本習字教育財団。

5. 文部科学大臣表彰式等の開催

1) 第70回文部科学大臣賞表彰式・祝賀会

日 時=2019年5月22日(水)

表彰式 13:00～13:45 祝賀会 14:30～16:00

会場＝表彰式は文部科学省講堂、祝賀会は霞山会館

表彰＝受賞者数 37名

式次第＝表彰状授与：文部科学省 清水明生涯学習政策局長（文部科学大臣代理）

式 辞：同上

祝 辞：社会通信教育協会会長 井出 久

謝 辞：受賞者代表 三宅 勝晴（社会通信教育協会）

学習成果の活用に関する発表 荒井 とみ子

祝賀会＝挨拶：文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課長 根本幸枝

挨拶と乾杯：筑波大学名誉教授 山本 恒夫

6. 文部科学省認定社会通信教育・総合案内の作成

内容＝萬谷 宏之（文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課長）・御手洗 康（社会教育団体振興協議会会長）・山本恒夫（筑波大学名誉教授・元中央教育審議会委員）・井出 久（社会通信教育協会会長）の推薦文、加盟団体の講座紹介、文部科学大臣表彰制度、生涯学習インストラクター制度等の概要説明。

体裁＝A4・4C・8P・両観音折・案内書請求ハガキ付き。50,000部作成。

配布先＝全国都道府県市町村教育委員会、生涯学習センター、図書館、公民館、法務省関係等。

7. 生涯学習インストラクターに関する事業

1) 生涯学習インストラクター制度には、生涯学習2級インストラクター、生涯学習1級インストラクターの資格制度がある。

2) 生涯学習インストラクター・コーディネーター機関紙の発行

生涯学習インストラクター・コーディネーター機関紙を次の通り発行し、文部科学省・全国都道府県市町村教育委員会、生涯学習センター、主要公民館、主要図書館、法務省関係、生涯学習インストラクター、生涯学習コーディネーター等に配布。

・機関紙 第50号（2019年9月1日発行）A4・8P・3,500部発行

内容＝「学ぶということ」銭谷 眞美（東京国立博物館館長）

「地域学習の推進について」水田 功（文部科学省生涯学習政策局 地域学習推進課長）「デンマークのユニークな成人のた

めの学校（秋田大学大学院教授）他。

・機関紙 第 51 号（2020 年 1 月 6 日発行）A4・8P・3,500 部発行

内 容＝「学ぶということ」小山 忠弘(ふるさと再生塾長)「リカレント教育について」根本 幸枝（文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課長）「ネットワークをつくる 3 つのヒント」伊藤康志（東京家政大学学長補佐）他。

3) 文部科学省生涯学習政策局の推進する事業について協力

「子どもの生活リズム向上プロジェクト・早寝早起き朝ごはん国民運動」、
「放課後子供教室推進事業」等、生涯学習インストラクターの会が全国各地で前記の事業を推進し、多数の会員が講師やボランティアで参加した。